

ともしび運動
推進協議会設置
昭和51年 4月

国際交流課設置
(国際外交推進)
昭和51年 7月

頭脳センター構想
提唱
昭和53年 5月

アメリカ・
メリーランド州と
友好調印
昭和56年 4月

かながわ
女性プラン策定
昭和57年 6月

情報公開制度
創設
昭和58年 4月

中国・
遼寧省と
友好調印
昭和58年 5月

昭和64年／平成元年

1989年
1月7日まで / 1月8日から



⑮ 第47～51代知事

ながす かずじ
長洲 一二

【在任期間】
昭和50年 4月23日
～平成 7年 4月22日

「地方の時代」を提唱した革新知事

- 大正 8（1919）年に東京都の神田に生まれ、日本銀行を 2 年間務めた後、横浜高等商業学校（現在の横浜国立大学）、次いで東京商科大学（現在の一橋大学）を卒業し、昭和49（1974）年に横浜国立大学の教授を退任後、社会党・公明党・共産党の支持を受け、革新統一候補として選挙に立候補し、知事に就任しました。
- 長洲県政は「**革新県政**」と呼ばれ、例えば、知事選で提唱していた「**国際外交**」（自治体レベルの民衆・地域同士の国境を越えた交流）を推進するため、全国に先駆けて国際交流課を設置しました。長洲知事の時代に、アメリカ・メリーランド州や中国・遼寧省など、世界の各都市と友好が結ばれました。
- また、高度経済成長期の終焉とともに都市問題や環境問題などが表面化し、人びとの価値観やニーズが大きく変化する中で、政治や行財政システムを委任型中央集権制から参加型地方分権制に転換する「**地方の時代**」を提唱すると、新たな時代に向けた考え方として、またたく間に全国に広がりました。
- このほか、産業政策では、石油危機以降、公害や地価の高騰、また、工場の県外移転による産業の空洞化の問題が生じると、長洲知事はいち早く重厚長大産業から知識集約型へと産業構造の転換を図る「**頭脳センター構想**」を提唱し、研究開発型企業の集積に努め、その結果、県内に多くの大学、研究機関が集まりました。
- また、誰もがともに理解し合い、支え合う社会の実現を目指す「**ともしび運動**」の展開（神奈川県発）、女性の地位向上を目指す「**かながわ女性プラン**」の策定、「**情報公開制度**」の創設（都道府県初）など、地方をリードする先進的な施策を次々と実施しました。